

# ONLY 1

## オンリーワン企業紹介

日本海から世界へ  
故人を偲ぶ新しいカタチ

### 株式会社たびだち

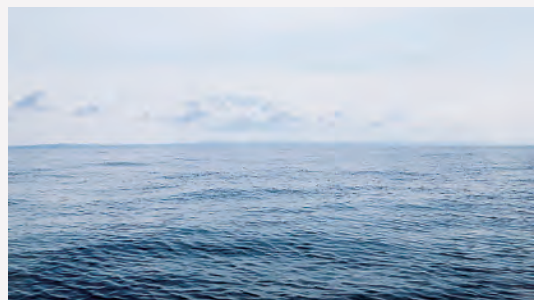
秋田ではまだ数少ない海洋散骨サービスを行う株式会社たびだちの代表である古屋幸二さんは元々料理人。30年近く客商売を続けた経歴を持ちながら全く新しい事業へシフトし、多様化するニーズに応え始めている。



### 日本海の海流に乗り、世界へ

少子高齢化や核家族化が進む現代では、「亡くなったらお墓に入る」という伝統的な供養の形が変化しつつある。費用や維持管理の面から“墓じまい”や“墓を残さない”ことへの関心は急速に高まっており、永代供養や樹木葬、散骨など葬祭業界でも多様な選択肢とサービスが展開されている。

「飲食店を営んでいたときには、お客さんからも“自分がいなくなったら誰が墓を見るのか”といった話をよく聞いていました。お墓を残すことは、子供や孫、ひ孫…と続く後の世代まで少なくない負担をかけることにもなるので、他の選択肢があってもいいのではないかと考えていました」。



自身が大の海好きな古屋さんは、その思いから「海洋散骨」を事業の柱とした株式会社たびだちを2年前に立ち上げた。「秋田の海で散骨をすると、日本海の海流に乗り太平洋に出て、文字通り“世界”へ旅立ってるんです」。

### 多くの人に知ってもらいたい

「故人が海が好きだったというご遺族の依頼ももちろんありますが、“墓を残したくない”と散骨を希望される方はやはり多い。可能な限り価格を抑えたサービスを心掛けています」。

「海洋散骨」は世界でも人気が高く、大手も参画しているが、たびだちは明朗かつリーズナブルな価格設定と地元企業ならではの丁寧な対応で、2018年の創業以降、50件以上の実績を重ねている。代行散骨の場合、遺骨は郵送で受け取ることもできるが、県内であれば依頼主の要望に応じて直接受け取りに行くサービスも行っている。一緒に乗船しての同行散骨も可能だ。海への散骨は明確な法整備がなされていないが、たびだちでは、国土交通省への内航不定期航路事業の届出を行い、遺骨を微細粉末にして水に溶ける包装を施すことや、漁場を避けること等のマナーを徹底し、委ねられた甲いに最大限の誠意をもって応えている。

「残された人のために、“自分の甲い方”を元気づけよううちに決めていただく際の選択肢のひとつになればいいと思っています。まずはたくさんの人に知ってもらうために、PRに力を入れていきたいですね」。

“生前予約”という形を取り、古屋さんに甲いを依頼する方もいるという。今後ますます多様化する社会に、たびだちは寄り添い続ける。



代表取締役  
古屋 幸二  
Koji Furuya

### 株式会社たびだち

〒010-0967  
秋田県秋田市高陽幸町2-50  
TEL. 080-5730-3231  
<https://www.tabidati.com/>

### 会社概要

海洋散骨（散骨代行、粉骨）

